

金子雄太 + 市原ひかり

organ

trumpet, flugelhorn

11月14日(土)

開場 19:30

開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可)

MC 2,500 円 + 2drink order

(1drink ¥600~)

CAFE BEULMANS

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



金子雄太

1971年9月生まれ 東京・神奈川出身
教会オルガニスト勤務やアマチュアバンドを経て黒人音楽へ傾倒、1990年頃からJazz, Blues, Soul, Funk系のグループで鍵盤奏者としてプロ活動を開始。ジャズの本場アメリカで10都市以上をセッション行脚した1997年以降は、 Hammond オルガン研究を独学で始める。オルガンと大型レスリースピーカーを使って全国で演奏活動を展開し、国内のジャズシーンに於ける Hammond オルガンの存在感を一段階押し上げ、プレイヤーとして広く認知される。現在は自己のユニットやバンドの他、アーティストサポート、ライブツアー、クラシックや教会音楽への回帰など、オルガン奏法研究家として独自の存在感を示し、後進の育成にも力を注ぐ。現行のデジタルオルガンはまだオリジナル Hammond に僅かに及ばない、という信念から、現在でも演奏活動には可能な限り B-3 などウィンテージの トーンホイール式 Hammond や管球式レスリーを連搬し使用している。

市原ひかり

1982年、東京都出身。成蹊学園小、中、高校を卒業。中学入学と同時に吹奏楽部でトランペットを始める。その後、洗足学園音楽大学のジャズ・コースに進学し、ジャズ・トランペットの基礎を学ぶ。ジャズトランペッター原朋直氏に師事。2005年、『一番の幸せ』でメジャーデビュー。2006年、2ndアルバム『Sara Smile』をリリース。スイングジャーナル誌のゴールド・ディスクを受賞。同時に、第40回ジャズ・ディスク大賞のニュー・スター賞も受賞。2007年5月、3rdアルバム『スターダスト』リリース。ジョージ・ムラーツbs、ビクター・ルイスdrs等、当代屈指の名手たちと収録。スイングジャーナル誌のゴールド・ディスクを受賞。2008年、スイングジャーナル誌第58回日本ジャズメン読者人気投票トランペット部門で第2位を獲得。2008年11月、『JOY』をリリース。スイングジャーナル誌第59回日本ジャズメン読者人気投票トランペット部門で第2位を獲得。2010年3月、『Move On』をリリース。2011年6月『市原ひかりグループ』2ndアルバム『UNITY』をリリース。2012年11月ピアニスト佐藤浩一とのデュオアルバム『Precious』をリリース。2014年10月、『Dear Gatsby』をリリース。自己のグループの他に、土岐英史asクインテット/セクステット(6/6)、秋山一将バンド、増原巖トリオ他多くのバンドに参加。ポップミュージックにおいては、山下達郎、竹内まりや、土岐麻子等のレコーディングにも参加している。本格的なパフォーマンスと、女性ならではの感性をそなえたジャズ・トランペッターである。